

みなさんの田んぼは大丈夫？

ジャンボタニシはみんなで**撃退!**

ジャンボタニシ（和名：スクミリンゴガイ）は南米原産の淡水性巻貝で、寒さにとても弱い生物です。食用として輸入されたジャンボタニシが野生化し、水田へと侵入して若い稲に食害をもたらしています。町内においても、大きな被害が発生している地域があり、町ではジャンボタニシ防除対策協議会を組織し、被害の軽減対策に取り組んでいます。

ジャンボタニシ被害の軽減対策

●【通年】貝や卵塊の駆除

貝は見つけ次第、捕殺しましょう。貝は寄生虫を持っている場合があり、卵には毒性があるため、素手で触らないようにしましょう。ピンクの卵塊は、水中に払い落とすかつぶしましょう。産卵直後の卵は水に落とすと孵化できなくなります。



●【取水期間】水田への侵入防止

取水口に5mm以下の網目のネットや金網を設置し、用水からの貝の侵入を防ぎます。特に用水からの侵入が多い時期にネットや金網を設置することで、多数の貝の侵入を防ぐことができます。

●【移植後2～3週間】浅水管理は食害防止に効果大

ジャンボタニシは水深4cm以下では活動範囲が狭まり、食害が減ります。

●【10月～3月】越冬場所の管理

ほ場の土中、用水路等で越冬し、水が残っているところでは越冬率が上がります。用水路の泥上げ、餌となる雑草の除去、水田の落水、用水マスの貝の除去を行うと効果的です。

●【1月～2月】耕うん

ジャンボタニシは土の中で越冬します。そのため、冬の間ロータリーを高回転にして浅く耕うんすることにより、殻を破碎したり、寒さにさらし、貝を駆除しましょう。被害を大きくする成貝ほど、寒さに弱いと言われています。



▶問合せ まちづくり課産業係 ☎2114

町内の移動に**循環バス**を使ってみませんか！

神崎町では循環バス『きらきら号』を町内で運行しています。

交通費の負担を軽減するために、循環バスを利用してみませんか。未来の公共交通を守るためにも、循環バスを含めた積極的な公共交通機関の利用をお願いいたします。

循環バスの時刻表・運行経路図は、まちづくり課及び保健福祉課の窓口で配布しております。（町のホームページでも確認できます。）

▶運行日 毎日運行（12月29日～1月3日を除く）

▶利用料金 無料



※酒蔵まつり2024（3/17㊤）に係る交通規制に伴い、循環バス「きらきら号」を一部区間臨時運休します。詳細につきましては、町ホームページをご確認ください。

▶問合せ まちづくり課地域振興係 ☎2114